

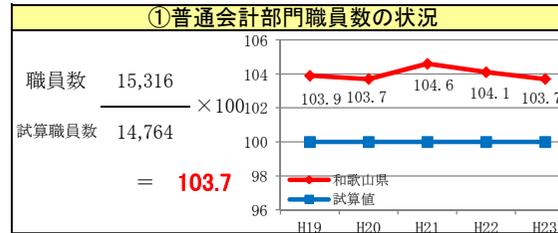
参考指標による職員数等の現状・分析シート

和歌山県

<基本データ>

団体名	和歌山県
人口(H23.3.31)	1,025,613 人
面積(H23.10.1)	4,726 km ²
全職員数(H23.4.1)	15,516 人
普通会計部門	15,316 人
一般行政部門	3,546 人
教育部門	9,300 人
警察部門	2,470 人
公営企業等会計部門	200 人
財力指数(H22)	0.33

※教育・警察の各部門については、国の法令等により配置基準が定められています。



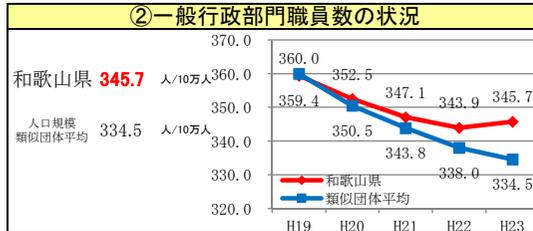
※人口・面積を基にした試算職員数と実際の職員数との比較を示しています。

<三角形の見方>

- ・太線(赤)は和歌山県の状況を表しています。
- ・細線(青)は道府県の平均値等を表しています。

①普通会計部門職員数の状況

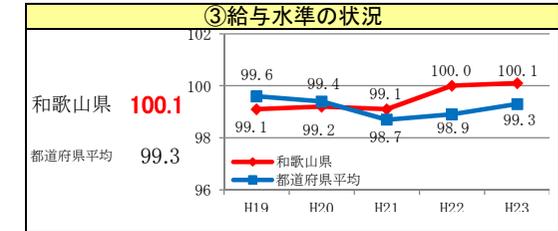
103.7



※人口10万人当たりの職員数を示しています。

345.7 人

②一般行政部門職員数の状況



※職員のうち一般行政職に係る給与水準を示しています。

100.1

③給与水準の状況

<分析欄>

【①普通会計職員数の状況】

- ・本県は、南北に長い地理的形狀から、出先事務所が多く、総務部門等の一般行政部門職員数が多くなっている。(参考)7振興局(うち、建設部は8部1支所、健康福祉部は7部1支所)
- ・新行財政改革推進プランにおいて、H23年4月からH28年4月までに350人の削減をめざす。

【②一般行政部門職員数の状況】

- ・人口10万人あたり職員数については、類似団体と比較して、若干多い。部門別にみると、総務部・土木部門が多くなっており、地理環境による出先事務所数が多いことや、県土基盤整備を進めていることが要因と考えられる。

【③給与水準の状況】

- ・ラスパイレス指数については、100.1であり、国の給与水準と概ね均衡がとれている。なお、0.1の差は、国と県の年齢構成による差と考えられる。

【④その他】

- ・その他特殊要因として、平成27年開催の国体準備業務の増加が想定されるため、事務事業見直しなどを含めた定員管理を進めていく必要がある。